町の“いま”を伝える
広報いわてまち
Iwate-machi Monthly Public Relations Paper
No.652
10
2013[平成25]年

秋晴れの下行われた川口秋まつり神輿還御。参加団体が一堂に集結した駅前広場に秋浦大名行列の掛け声が響きわたりました。関連記事…2ページ（9月23日、川口地区）

■主な記事

● 川口秋まつり…2ページ
● 各種表彰、町敬老会…3ページ
● いわてまち大縁会他…4ページ
● 石神の丘美術館シンポジウム他…5ページ
● 平成24年度決算報告他…6～9ページ

賞

社会福祉事業功労者

社会福祉の増進に貢献した功績により清藤隆夫さんは9月19日、県民生児童委員大会の席上で社会福祉事業功労者として県知事から表彰されました。清藤さんは、平成2年から現在まで民生委員児童委員に在任。平成22年からは町の同委員協議会長を務めるなど、社会福祉の向上に尽力しています。

町民生委員・児童委員
清藤（せいどう） 隆夫（たかお）さん(79)＝豊岡＝

県交通安全ポスターコンクール 優秀賞

岩瀬張小2年
岩崎 妃由（ひより）さん

平成25年度県交通安全ポスターコンクールの入賞者が決定し、岩瀬張小2年の岩崎妃由さんが小学校低学年の部（1～3年）で最優秀賞に次ぐ、優秀賞に輝きました。同コンクールには、県内142校から2,680点、同部には778点の応募がありました。岩崎さんは「車にひかれないように気を付けてほしいと思って描きました」と話し入賞を喜びました。

理容美容学生技術大会東北地区大会 優秀賞

理・美容師を志す学生が技術を競い合う「全日本理容美容学生技術大会」の東北地区大会が7月31日、山形県天童市で行われ、独創的で芸術的な男性の髪型をつくる「チャレンジアートヘア競技」で、馬場翔也さんが優秀賞を受賞しました。馬場さんは、11月17日に神戸市で開かれる全国大会へ出場が決定。「全国からの出場者に負けない印象強い作品をつくりたい」と意気込みます。

盛岡ヘアメイク専門学校2年
馬場（ばば） 翔也（しょうや）さん(20)＝土川＝

地域挙げてお祝い 町敬老会14会場で祝

9月16日の「敬老の日」に先立ち、町敬老会は9月8日（特別養護老人ホーム「ラベンダー」は11日、「あんずの里」は25日）、町社会福祉協議会（西舘政彦会長）や町が主催して町内14会場で行われ、各会場では、地域の子どもたちや婦人会などによるさまざまなアトラクションが披露され、地域を挙げてお年寄りの長寿を祝いました。

川口地区社会体育館では、当日出席した100歳到達者の松村佐太郎さん＝雪浦＝らに、平沢勝郎教育長から表彰状と記念品が贈られた他、川口保育所の園児が元気いっぱいに踊る鳴子太鼓を披露。「おじいさん、おばあさん、いつまでも元気でいてください」と呼び掛けました。

本年度の町敬老会は、来年3月末までに75歳以上になる皆さんを対象に、3016人を招待。当日は、各会場に1568人が出席しました。町は、100歳を超える5人をはじめ、100歳到達者2人、99歳の白寿2人、88歳の米寿108人、80歳の傘寿171人に記念品を贈呈。町内の最高齢は本年度中に105歳を迎える武田ミサオさん＝新田＝です。

①100歳の松村佐太郎さんが出席②お互いに長寿を祝う出席者たち③元気に踊り祝いの席に花を添えた川口保育所の園児たち

祭

川口豊城稲荷神社例大祭

実りに感謝 川口繁栄願う秋

9月21日から23日の3日間、川口地区で川口秋まつり（川口豊城稲荷神社例大祭）が盛大に開催されました。

初日は、神輿渡御（みこしとぎょ）が稲荷神社から同地区中心部を南進。神輿を先導する秋浦大名行列に続き、郷土芸能の川口神楽、きつね踊り、野原さんさ踊りの他、勇壮華麗な3台の風流山車が堂々と練り歩きました。中日は、川口音頭と照明に彩られた風流山車の夜間パレードを実施。最終日の神輿還御（みこしかんぎょ）では、全団体が岩手川口駅前の広場に集合し、観衆の拍手喝采を浴びました。

晴天に恵まれた3日間、各団体は秋の実りに感謝するとともに、演舞や音頭を奉納して地域の繁栄を願いました。

町産業経済人ネットワーク
in 東京 2013

～町の人的ネットワーク構築・拡大へ～

いわてまち大縁会 開催

首都圏に住む著名人や企業関係者などに岩手町をＰＲすることで町の人的ネットワークを広げ、企業誘致やビジネス誘致につなげようと町産業経済人ネットワークin東京２０１３「いわてまち大縁会」が８月31日、東京都渋谷区原宿のイタリア料理レストラン「ベニーレベニーレ」で開催されました。

平成23年度に始まり３回目となる今回の大縁会には、約80人が参加。町ふるさと大使の岩崎茂統合幕僚長、プロゴルファーの日蔭温子さんなどの著名人や首都圏の企業関係者の他、同会の１週間ほど前に園井恵子生誕百年祭の記念ステージで来町した元宝塚歌劇団の流けい子さんと森奈みはるさんも出席し、生歌を披露するなど会を盛り上げてくれました。

町からは、民部田幾夫町長をはじめ、佐藤弘吉町議会議長と八戸保彦町商工会長、久保憲雄ＪＡ新いわて組合長など行政と住民、町内の農商工の各代表者が上京して出席。積極的にトップセールスを展開しました。

会場では、町特産のキャベツ「いわて春みどり」に代表される野菜類をはじめ、牛肉、豚肉など町の豊かな食材を生産者自らが大いにＰＲ。それら町産食材が本格イタリアンに調理されテーブルへ運ばれると、出席者は料理を味わいながら町の取り組みや秋まつりなどの紹介に聞き入り、岩手町が持つ多くの魅力に触れました。

①町の特産キャベツ「いわて春みどり」をＰＲする生産者②音頭上げを披露し町の秋まつりを紹介③民部田町長をはじめ佐藤弘吉町議長など各代表者が上京して出席。来客をもてなし、トップセールスを展開

料理長も高評価 岩手町産食材

会場のイタリア料理レストラン「ベニーレベニーレ」の菊池亨料理長（40）＝遠野市出身＝は、「今回の料理は、ほとんど岩手町産の食材を使いました。岩手町産の野菜は味が濃く、ずっしりと重みがあって質が良い。特にキャベツは、生はもちろん、煮て良し、焼いて良しですね」と高く評価していました。

町ふるさと大使懇談会 町活性化の提言を伺う

町の情報を全国に発信し、産業振興や企業誘致を図ろうと14人に委嘱している町ふるさと大使の懇談会が大縁会の機会に合わせて開催されました。懇談会には、民部田町長ら町の代表者の他、オブザーバーとして町議会議長、町商工会長、ＪＡ新いわて組合長、町ふるさと会長が出席。席上では、町と大使が近況を報告し合った後、大使やオブザーバーから町に対する貴重な提言がされるなど町の活性化のため、盛んに情報交換が行われました。

町ふるさと大使の立場から町へ貴重な提言をいただいた

石神の丘美術館開館20周年記念シンポジウム

美術館の将来像を思い描く

石神の丘美術館開館20周年記念シンポジウム「これからの石神の丘美術館を考える」は９月16日、同館で開催されました。当日は、約50人が参加。平成５年に県内初の野外彫刻美術館として開館し、平成14年のリニューアルを経て20周年を迎えた同館の将来に思いを巡らせました。

シンポジウムには、小岩井農牧株式会社の軍司俊道氏と町教育委員の田村えい子氏、町観光協会の八戸保彦会長、宮城教育大の新田秀樹教授の４人がパネラーとして参加。同館の斎藤純芸術監督がコーディネーターを務めました。

軍司氏は、同館の景観や植生について専門家の視点から良い点や問題点を挙げ、「より自然を生かしたほうが良い」と指摘。田村氏は、「子どもたちが身近に親しみ、良さを感じる取り組みが大事」と訴えました。また、八戸会長は、「観光施設として発信力はあるが、現在は点としての存在。北緯40度ラインや北上川のラインの中心的立場でつないでいく必要がある」と強調しました。新田教授は、「美術館としての骨格はしっかりしている。近隣のガーデニング施設と連携しガーデン回廊として発信してはどうか。個性を生かしながら相乗効果が期待できる」とまとめました。

同館は昨年度、平成34年度までの運営の基本となる「第２次石神の丘美術館運営計画」を策定。「岩手町ぐるっとガーデン・ミュージアム」をキーワードに屋外展示場のアートガーデン構想などを掲げています。

異なる視点から石神の丘美術館の未来を探るパネラーたち

山口清治さん公開制作

ぼくの石彫シンポジウム

石神の丘美術館で開催中の企画展「石神の丘アートウォーク2013」の一環として９月10日から20日まで、彫刻家・山口清治さん（60）＝青森市＝による石彫の公開制作が同美術館野外劇場ステージで行われました。町では、国内外の作家を招いて昭和48年から平成15年まで「町国際石彫シンポジウム」を開催。当時、カメラマンとして同シンポジウムに参加していた山口さんは、「僕にとって岩手町は芸術のふるさと。自分自身、石彫シンポジウム当時の雰囲気を味わいたいし、町の人にも感じてほしい」と話し、町産の黒御影石を使用した作品を制作しました。山口さんは、10月にも再び来町し、作品の設置などを行います。

(株)ツムラ社長が表敬訪問 薬草の産地振興へ意見交換

漢方製剤のトップメーカー株式会社ツムラ（本社＝東京都）は９月５日、町役場を表敬訪問しました。当日は、同社の加藤照和代表取締役社長ら３人が来庁し、同社の展開する事業や漢方について概要を説明。出席した町の関係者や同社と契約を結び町内に本拠を構えて漢方の原料となる薬草を栽培する岩手薬草生産組合の関係者と情報・意見の交換を行いました。

熱心に意見交換する(株)ツムラと町、岩手薬草生産組合の関係者

町と同組合は、同社の加藤社長から、▼医療用漢方製剤の原料となる生薬の調達量が毎年増加していること ▼海外にも拠点を持つ同社が国内での生薬栽培の充実を図ろうとしていること ▼岩手薬草生産組合での生薬生産を拡大する方針であることなどの説明を受けました。

一方、町は昨年度から同組合を対象とした補助事業を創設するなど、薬草の将来性に着目し産地化に向けて支援策を講じていることなどを説明。同組合からは、▼町の補助により町内生産者の資機材購入が優遇されたこと ▼「広報いわてまち」に掲載され、新規生産者が増加したことなど、町との連携による成果が報告されました。

同組合は現在、次年度の作付を募集中です。詳細は、農事法人岩手薬草生産組合☎62-6006まで。

町と同社、同組合の連携による、さらなる薬草の産地化が期待されます。

平成24年度
決算報告

「めぐみの大地　笑顔が結ぶ　ひと輝く　健康福祉のいわてまち」 実現に113億円

歳出総額113億円に上る平成24年度一般会計と特別会計の決算は9月20日、町議会定例会（会期＝9月10～20日）で認定されました。経済の低迷で依然厳しい情勢が続く中、町では生活環境基盤の充実をはじめ生活に密着した事業を重点にまちづくりを進めました。今月号では、一般会計と特別会計のあらましを紹介します。（決算額は町民1人当たりの決算額を除き、万円単位で表示しています）

一般会計

一般会計の収支は、歳入が86億2,229円（前年度比2.1ポイント、1億8,769万円減）、歳出が83億8,868万円（前年度比2.4ポイント、2億708万円減）でした（図2参照）。平成24年度は、より徹底した経常経費の節減と合理化に努め、生活環境基盤をはじめ生活に密着した事業に重点を置いたまちづくりを進めました。

歳入
86億2229万円
自主財源比率は25・9％に

図2の上段は、収入に当たる歳入の内訳を表しています。

まず歳入のトップは、町政の運営のために国から交付を受ける地方交付税で36億6088万円（42・5％）。次いで、町の皆さんが納める町税が13億9329万円（16・2％）、町の借金に当たる町債が10億2576万円、特定の事業への補助などに充てる国庫支出金が8億289万円。以下、県支出金などが続きます。

また、町が独自に調達できる財源を「自主財源」といいますが、その割合が大きいほど財政運営の自主性、安定性があるとされる自主財源比率は、平成23年度を0・1ポイント上回り25・9％になりました。

歳出
83億8868万円
20・2％を基盤整備充実に

図2の下段では、予算がどのように使われたかを目的別にまとめています。

支出で一番多いのが民生費で、全体の19・4％に当たる16億2788万円。以下、公債費が14億1628万円、総務費が12億2433万円、土木費が9億5845万円、衛生費が8億8238万円、教育費が7億1277万円、と続きます。

また、図3は歳出を性質別に分けたものです。町道整備や小中学校をはじめ教育環境の整備など、町づくりの基盤整備に使われた経費を投資的経費（普通建設事業費など）といいます。投資的経費は16億9768万円で、全体の20・2％を占め、23年度より1億6032万円の減となりました。一方、義務的経費（人件費、公債費、扶助費）は、切り詰めることが難しい経費で、この割合が高いほど財政が硬直化しているといわれています。24年度は、34億7233万円で23年度と比較すると扶助費が2958万円増えているものの、人件費は6635万円減、公債費は4151万円の減で合計7828万円の減となりました。

なお、財政状況を全体的に見た場合、人件費や公債費などの縮減が難しい経常的経費のために、一般財源（町税など使い道が自由な財源）がどの程度使われたかを示す経常収支比率は、23年度より0・4ポイント上回り、85・8％となっています。

図1　一般会計歳出額の推移（過去10年間）

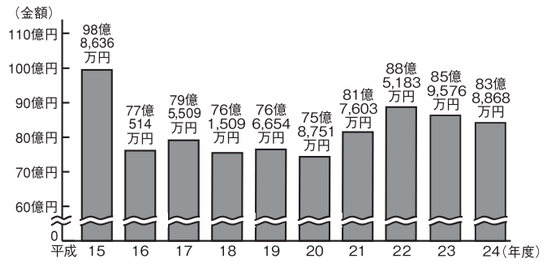


図2　平成24年度一般会計歳入・歳出の内訳　■自主財源　□依存財源

町税	繰越金 諸収入など	地方交付税	町債	国庫支出金	県支出金	その他
13億 9,329万円	9億 6,048万円	36億 6,088万円	10億 2,576万円	8億 289万円	4億 7,571万円	3億 328万円
16.2%	11.1%	42.5%	11.9%	9.3%	5.5%	3.5%

歳入　合計　86億2,229万円

歳出　合計　83億8,868万円

災害復旧費	3億6,522万円	4.4%
農林水産業費	2億6,831万円	3.2%
商工費	1億1,880万円	1.4%
議会費	1億255万円	1.2%
労働費	2,413万円	0.3%

民生費	公債費	総務費	土木費	衛生費	教育費	消防費	その他
16億 2,788万円	14億 1,628万円	12億 2,433万円	9億 5,845万円	8億 8,238万円	7億 1,277万円	6億 8,758万円	8億 7,901万円
19.4%	16.9%	14.6%	11.4%	10.5%	8.5%	8.2%	10.5%

図3　歳出の性質別内訳

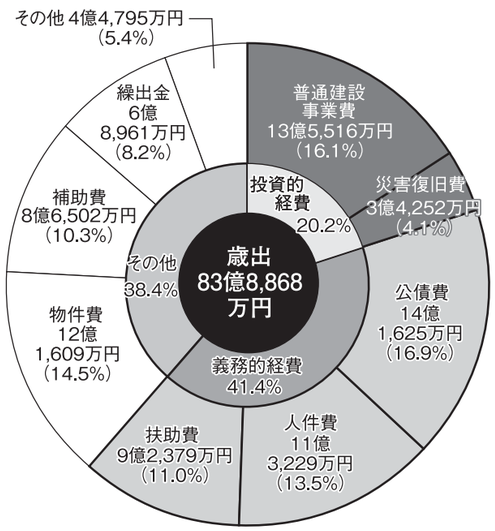
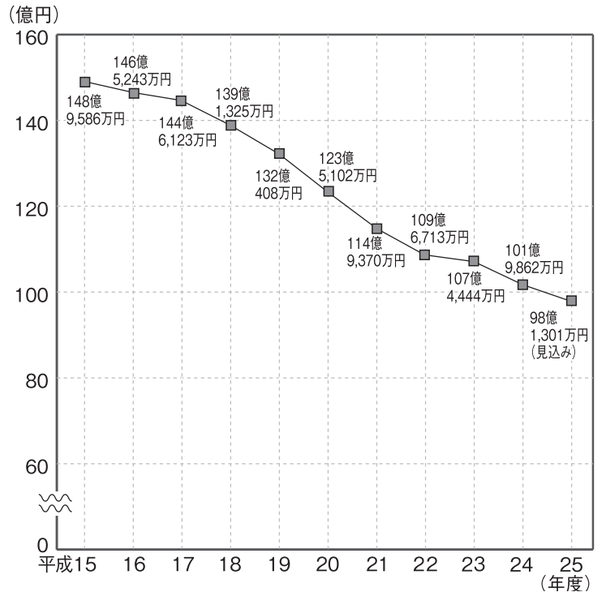


図4　町債残高の推移（過去10年）



町債の状況
残高は着実に減少

町債とは、道路や学校など長年にわたり使用される公共施設の整備などのために国から特別に認められて調達できる借金のことです。

図4では、町債残高の推移をグラフに表しています。一般会計における町債残高は、平成15年度がピークで148億9586万円ありましたが、近年は事業を厳選して新規の町債発行を抑制。さらに、繰上償還を行うなど町債残高の削減に努めてきました。24年度決算では、101億9862万円に減少し、25年度決算では、100億円を切る見込みです。

また、町債の償還に充てる費用が町の行政活動に必要な一般財源の総額に占める割合を表す公債費比率は、23年度を0・9ポイント下回る16・2％になっています。

財政健全化判断比率と資金不足比率の公表

平成24年度決算に基づく、財政健全化判断比率４指標と資金不足比率を公表します。

健全化判断比率４指標（表１）は、１つでも早期健全化基準以上の指標がある場合は財政健全化計画を、資金不足比率（表２）は、経営健全化基準以上の指標がある場合は経営健全化計画を、それぞれ定める必要があります。当町における各指標は基準を下回っており、各種健全化計画を定める必要はありません。

表１　健全化判断比率４指標

	岩手町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	－	14.69%	20.0%
連結実質赤字比率	－	19.69%	30.0%
実質公債費比率	16.2%	25.0%	35.0%
将来負担比率	85.5%	350.0%	設定なし

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字とならなかったため－（該当なし）で表示

表２　資金不足比率

	岩手町	経営健全化基準
水道事業特別会計	－	20.0%
公共下水道事業特別会計	－	20.0%
戸別浄化槽事業特別会計	－	20.0%

※各会計とも資金不足とならなかったため－（該当なし）で表示

《用語解説》

●実質赤字比率：標準財政規模に対する歳入総額から歳出総額を差し引いた額の割合

●連結実質赤字比率：全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率

●実質公債費比率：一般会計が負担する元利償還金等の標準財政規模に対する比率

●将来負担比率：一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

●資金不足比率：公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率

●標準財政規模：自治体が標準的な状態の時、通常収入されるであろう経常的一般財源の規模

大勢の来場者でにぎわう道の駅「石神の丘」（7月28日、11周年記念感謝祭）

第三セクター
㈱岩手町ふるさと振興公社

決算公告

第12期事業実績報告（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

㈱岩手町ふるさと振興公社は、道の駅「石神の丘」の産地形成促進施設や道路情報休憩施設、石神の丘美術館、岩手広域交流センターなどの管理運営を主な業務とする第三セクターとして平成13年8月1日に設立されました（資本金２０００万円）。

第12期は、10年を経過した各受託施設の効率的・効果的な維持管理に努めるとともに、積極的な営業活動を通じ、地場の農林産物、加工品、特産品、地域食材の提供や情報発信を展開。地域振興と交流人口の拡大に取り組みました。産直施設では、農産物の売り上げが放射能の風評被害などの影響により前年を下回ったものの、特産品の売上高は増加。レストランでも売上高、来客数ともに前年より増加するなど、営業部門全体の売上高は前年を上回りました。なお、今期は公社から町に対し５００万円の寄付を行いました。

第12期決算公告

平成25年10月1日

岩手郡岩手町大字五日市第10地割１２１番地20
株式会社岩手町ふるさと振興公社
代表取締役社長　民部田　幾夫

貸借対照表のあらまし
平成25年3月31日現在（単位：千円）

科目		金額
資産の部	流動資産	122,814
	固定資産	5,678
	合計	128,492
負債・純資産の部	流動負債	33,052
	固定負債	0
	負債合計	33,052
	資本金	20,000
	利益剰余金	75,440
	（うち利益準備金）	（820）
	（うちその他利益剰余金）	（74,620）
	純資産の部合計	95,440
	合計	128,492

一般会計83億円 主な使い道

決算額83億8,868万円に上る一般会計は、主に次のような事業に使われました。（3,000万円を超えるもの）

◆健康福祉◆

○国民健康保険支援事業4,012万円
○国民健康保険保険基盤安定事業……6,897万円
○各種予防接種事業……3,411万円
○後期高齢者医療広域連合事業……1億9,772万円
○健康増進事業（健康診査、健康相談など）……5,333万円

◆高齢者福祉◆

○高齢者福祉施設等整備事業……4,860万円
○介護保険運営事業（盛岡北部行政事務組合負担金事業）…2億3,866万円

◆児童福祉◆

○子ども手当給付事業（延べ3,217人）……3,592万円
○児童手当給付事業（延べ14,831人）……1億6,462万円
○保育実施委託事業（城山保育園他、町外保育所延べ1,172人）……8,568万円
○保育所運営事業（水堀保育所延べ337人）……4,837万円
○沼宮内保育所運営委託（延べ821人）……4,797万円
○一方井保育所運営委託（延べ602人）……4,305万円
○川口保育所・子育て支援センター運営委託（延べ5,315人）……6,392万円
○児童館運営事業（保育型2館延べ256人、学童型4館登録158人）……8,247万円

各種保育事業などにより伸び伸び成長する町の子どもたち

◆障害者福祉◆

○障害者介護給付費等事業……3億5,184万円
○重度心身障害者医療費給付事業（一般3,215万円、後期高齢者1,385万円）……4,600万円

◆生活基盤整備◆

○町道除雪……1億3,875万円
○横田岩崎線道路改良事業……1億1,185万円
○打越黒石線道路改良事業……3,772万円
○門ノ沢線新設改良事業……3,310万円
○北上川河川整備受託事業……1億593万円
○河川災害関連事業…1億5,265万円

◆環境衛生◆

○ごみ焼却・破砕処理事業負担金（岩手・玉山環境組合）…1億4,545万円
○し尿処理事業負担金（盛岡北部行政事務組合）……8,308万円

◆産業振興◆

○一方井土地改良事業負担金……3,117万円
○中小企業振興資金貸付事業……3,100万円

◆その他◆

○共聴組合施設地デジ放送対応改修補助金……7,140万円
○岩手広域交流センター等管理運営事業（管理運営委託）……4,580万円
○電子計算費事業……3,747万円
○盛岡地区広域消防組合負担金……2億1,751万円
○防災行政無線施設整備事業……3億8,700万円

来年度の運用開始に向け整備が進む町防災行政無線

○石神の丘美術館管理運営事業（管理委託ほか）……4,154万円
○農地及び農業用施設災害復旧事業……1億1,402万円
○公共土木施設災害復旧事業……2億5,120万円

特別会計

町には、国民健康保険、後期高齢者医療、公共下水道事業、戸別浄化槽事業、水道事業の５つの特別会計があります。各会計の歳出は次のとおりです。

●国民健康保険　19億4,966万円
自営業や退職した人の医療費を給付するために使われました。

●後期高齢者医療　1億2,159万円
後期高齢者の医療費をまかなうために使われました。

●公共下水道事業　3億5,861万円
環境を守る公共下水道の整備や汚水処理のために使われました。

●戸別浄化槽事業　1,469万円
公共下水道区域以外の汚水処理のために使われました。

●水道事業　4億6,697万円
安心して使うことのできる水を供給するために使われました。

「まち・ひと きらり」では、きらりと光る町の出来事や輝く人たちを紹介します。
あなたの地域・職場での話題をお寄せください。

まち ひと きらり

投稿と問い合わせは役場企画商工課企画広報係 ☎62-2111［内線217］まで

Topics01 焼きうどん連合歓隊が出展 北海道東北B-1グランプリ

焼きうどんを通じた町おこしに取り組む「いわてまち焼きうどん連合歓隊」（府金伸治隊長）は9月8日、9日の両日、青森県十和田市で開催された「2013北海道・東北B・1グランプリin十和田」（同実行委員会など主催）に出展しました。

両日は、ご当地グルメを通じてまちおこし活動を行う21団体が出展。連合歓隊は、特産キャベツ「いわて春みどり」をはじめとする町の豊かな食材をキャベツマンが熱心にPRしながら、自慢の焼きうどんを提供しました。会場には、2日間で18万1千人が来場。来場者が箸を投票するグランプリの結果、連合歓隊は惜しくも入賞は逃したものの、2日間にわたり岩手町の魅力の大いにPRしました。

なお、同隊は11月9、10日、愛知県豊川市で開催される全国B・1グランプリに出展予定。さらなるまちおこしに期待が高まります。

①②行列ができる焼きうどん連合歓隊ブース③気に入った団体に箸を入れる投票所④熱心に町をPRするキャベツマン

Topics02 町女性7団体が被災地支援 釜石市の施設にタオル寄贈

町内の女性団体で組織する町女性団体連絡会議（議長・朽木ヨシミ町婦人消防協力隊長）は9月19日、釜石市を訪れ、被災地支援活動を行いました。

当日は、7団体から28人が参加。事前に各団体で集めたタオル約千枚を養護老人ホーム「五葉寮（ごようりょう）」に寄贈しました。五葉寮は震災の津波で被災し、現在新たな施設を建設中。年内の開所を目指しています。同施設の菊池洋二事務長は、「いただいたタオルは、有効に活用したい」と感謝しました。

また、被災しながら避難所にもなった同市内の旅館「宝来館」では、女将の岩崎昭子さんから震災当時の状況や体験談、復興へ向けた取り組みの話を聞き、参加者たちは被災地の現状を肌で感じました。

朽木議長は「被災地での支援活動は今回で2回目。町の女性のパワーでできることを続けていきたい」と話しました。

①女将さん（前列右から4人目）から被災地の現状を聞いた旅館「宝来館」で記念撮影②養護老人ホーム「五葉寮」に7団体が集めた新品のタオル約千枚を寄贈

スマイル Smile Babies ベビーズ

1歳児健診に来てくれたお子さんのかわいい笑顔を紹介します。

お子さんの紹介
なまえ （地区）
保護者から一言

山谷紘大さんの長男
山谷 七飛（ななと）くん（上野口町）
食いしん坊ななと君。いっぱい食べてたくましく育ってね！

武田大輔さんの三女
武田 夏帆（かほ）ちゃん（上黒内）
元気で優しい子になってね

沢口隆洋さんの長女
沢口 妃愛（ひな）ちゃん（尾呂部）
元気で優しい子になってね

伊藤学さんの三女
伊藤 菜々子（ななこ）ちゃん（下愛宕下）
一緒に大きい魚を釣ろうね♪

立花涼さんの三男
立花 凪（なぎ）くん（境田）
元気に育ってね

My Dream 僕の夢 私の夢 No.290

山崎 文音（ふのん）さん　柳本 幸輝（こうき）君
木戸口 璃七（りな）さん（北山形小5年全員）

運動大好き３人組

将来は、「たくさん得点できるサッカー選手になりたい」文音さんと「お客さんが幸せになれるようなお菓子を作るパティシエになりたい」璃七さん、「中村俊輔選手に憧れて、サッカー選手になりたい」幸輝君は、運動が大好きな仲良し３人組。学校では、「１年間で校庭600周」を目標に業間マラソンに取り組んでいる他、帰宅後も走ったり、バスケットボールなどで体力づくりに励みます。10月は学習発表会と自分たちが育てた農作物を地域の皆さんに振る舞う収穫感謝祭が「とても楽しみ」と目を輝かせます。

お元気ですか No.290

今日と明日を大事に

山口（やまぐち） 恵子（けいこ） さん（79） ＝駅前＝

東京で生まれ一関市で育ったという恵子さん。「一関市にいた中学生の頃、アイオン台風に襲われ街の中を船で避難しました。その時いただいた、たった１つのおにぎりがとてもありがたく、一生忘れられません」と話す体験から「今日と明日を大事に」をモットーにしてきました。歌が趣味でコーラスグループに所属する他、代表を務める「童謡を歌う会」では、老人ホームや小学校を訪問。「童謡は昔のことや自分の生き様を思い出させます。聴いて涙を流す人もいますよ。私も歌うと嫌なことが吹き飛びます」と話します。毎日の出来事は欠かさず日誌につづるという恵子さん。「気持ちは常に若く持っていたい」と微笑みます。

▼2013.08.28

脳卒中予防し生涯元気

○第1回町民健康講座

第1回町民健康講座は8月28日、町と郡医師会(高橋邦尚会長)の共催で開かれました。当日は、会場のプラザあいに約120人が来場。こんの神経内科・脳神経外科クリニック(滝沢村)の紺野敏昭院長が「脳卒中を予防し、生涯元気に暮らそう」と題して講演しました。紺野院長は脳卒中の予防について「生活習慣の改善が大切」と訴えました。

町民健康講座は今後、11月16日(土)と12月9日(月)に開催予定。詳細はその都度、回覧などでお知らせします。

健康に関心を持つ多くの町民が参加し脳卒中への理解を深めた

▼2013.08.28

酪農を継ぎ地域を元気にしたいと主張した細野君が最優秀賞

堂々と自分の思い発表

○わたしの主張北岩手地区大会

中学生による「わたしの主張北岩手地区大会」(同実行委員会主催)は8月28日、沼宮内中で開催されました。当日は、八幡平市、葛巻町、岩手町の10校の代表が出場。家庭や学校、地域などの出来事や体験から得た自分の主張を発表しました。発表の結果、「ふるさとを守る」の題で主張を展開した東部中3年の細野清将君が最優秀賞に輝きました。また、沼宮内中3年の西田こずえさんが優秀賞、一方井中3年の馬場夕紀菜さんが優良賞を受賞しました。

▼2013.09.01

岩手町町民歌をサプライズ演奏した陸上自衛隊第9音楽隊

アリーナに響く町民歌

○陸上自衛隊演奏会

陸上自衛隊第9音楽隊(指揮者・小川浩英1等陸尉)の演奏会は9月1日、森のアリーナで開催されました。当日は、北東北3県を活動地域として年間約80回の演奏を披露する音楽専門部隊の同隊が出演。クラシックや歌謡曲、映画音楽など幅広いジャンルの楽曲が多数披露された他、サプライズ演奏として、「岩手町町民歌」が演奏されました。会場に詰めかけた約500人の聴衆は、なじみの曲を口ずさむなどしながらアリーナいっぱいに響く演奏を堪能しました。

▼2013.09.04

北上川通じて交流学習

○水堀小と宮城県北上小

北上川源泉の地の水堀小と河口の北上小(宮城県石巻市)の交流会が9月4日、同小などで行われました。6月には水堀小が北上小を訪ねて交流し、今回は北上小の5年生28人が来町。両校の児童は「ゆはずの泉」の見学や水生生物調査などで交流学習を実施しました。北上小の佐々木海青(かせい)君は「ここから自分たちの所まで良く流れてきているなと思った」と関心を深め、水堀小の西舘善弘君は、「久しぶりに会えてうれしかった」と北上川でつながる仲間との再会を喜びました。

北上川の源泉「ゆはずの泉」を見学する北上小(宮城県)の児童たち

5つの大会新と2つのタイ記録!

○小学校陸上記録会 ▼2013.09.05

平成25年度第6回町小学校陸上競技記録会は9月5日、川口小グラウンドで開催されました。当日は、町内の8小学校の代表選手が男女全28種目で熱戦を展開。会場は各校の応援団や父母から盛んに声援が送られるなど熱気に包まれました。各選手は、自己ベストを目指して全力を尽くし、5つの大会新記録と2つの大会タイ記録が生まれました。

【大会新・タイ記録】 ▼男子最強リレー 58秒9 沼宮内A ▼5年女子50m 8秒2(大会タイ) 情野花音(川口小) ▼4年女子100m 16秒1 沢村秋羽(水堀小) ▼5年女子100m 15秒7(大会タイ) 情野花音 ▼6年女子100m 14秒7 田中玲音(久保小) ▼5年女子800m ①2分56秒4 岩舘優希(沼宮内小) ②2分56秒7 大坊咲葵(同)

走る・投げる・跳ぶに全力を尽くす選手たちと声援を送る応援団

隣県チーム招き熱戦と交流

○町スポ少ホッケー交流会 ▼2013.09.15

第41回町スポーツ少年団ホッケー交流会は9月15日、町ホッケー場で開催されました。当日は、町内のスポーツ少年団の他、青森、秋田、宮城のチームも参加。男女別の1部と男女混成の2部に分れ試合が行われました。あいにくの雨天にもかかわらず選手たちは、勝利を目指し熱戦を展開。町勢が3種目で優勝を果たしました。

【大会結果】(各種目第2位まで) ▼男子1部 ①水堀・沼宮内 ②岡三沢(青森)▼女子1部①久保・一方井 ②水堀・沼宮内 ▼2部①久保・一方井 ②水堀・沼宮内

雨の中の男子1部決勝戦。相手陣内へ鋭く攻め込む水堀・沼宮内スポ少

岩手山を望む絶好のロケーションで日ごろの練習成果を発揮する選手たち

25チームが爽快にプレー

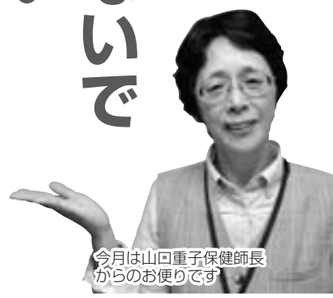
○石美杯ゲートボール大会 ▼2013.08.29

第20回石神の丘美術館杯ゲートボール大会は8月29日、町総合グラウンドで行われ、町内や近隣市町村から25チーム、約150人の愛好者が参加しました。選手たちは、岩手山を望む景色の中、きれいに刈り揃えられた緑鮮やかな天然芝グラウンドで爽快にプレー。自チームと相手チームのボールの行方に一喜一憂しながら対戦し、親睦を深めました。大会結果は次のとおりです。

【大会結果】 ①盛岡北(盛岡市) ②杜の大橋(同) ③室岡(矢巾町) ④啄木(盛岡市) ⑤白桜クラブ(矢巾町)

誰でもかかる「うつ病」

一人で悩まないで相談ください


今月は山口重子保健師長からのお便りです

大切な人の命を守るために

日本での自殺者は、年間3万人を超えていましたが、平成15年をピークに、同24年は2万7858人と、わずかながら減ってきています。また、県の自殺死亡率は、同23年は秋田県に次いでワースト2位でしたが、同24年はワースト4位と、少し改善されました。

自ら命を絶った人の多くは、うつ病などの心の病気を抱えていると言われています。そこで、15人に1人が経験するというデータもある「うつ病」について正しく理解し、あなたと大切な人の命を守りましょう。

「うつ病」正しいものは?

次の6つの項目で、うつ病について正しいものは何番でしょうか。

①誰でもかかる可能性がある病気である
②うつ病と「なまけ」は違うものである
③うつ病は自殺と関係がある
④うつ病の人に励ましの声をかけるのは良くない
⑤休養と薬物療法で治療する
⑥うつ病の症状として、不調や痛みがあることがある

実は、①～⑥までの全てが、うつ病についての正しい内容なのです。

脳のエネルギーが不足している状態

うつ病とは、ひどく落ち込んだり、楽しさを感じられなくなり、日常生活に支障をきたす病気です。これは「気の持ちよう」とか「弱さ」からではなく、さまざまなストレスにより脳のエネルギーが不足して、脳の神経伝達物質が減少するために起こると考えられています。

「気分が重く沈みこむ」、「何をやっても楽しくない」などという症状が2週間以上続く場合は、うつ病の可能性があります。

うつ病が疑われたら

【自分ができること】

つらいことを一人で抱え込まず、家族や友人、または医師や保健師などの専門家に相談しましょう。

【周囲の人ができること】

○「どうしたの?」と声を掛けてみましょう
○相手の話をじっくり聞いてあげましょう
○励ましは逆効果。温かく見守りましょう
○専門家や医療機関などの相談や受診を勧めましょう

無料で開催「こころの相談」

町は、精神科医師による「こころの相談」を無料で開催しています。気になることがある人は、一人で悩まず相談ください。相談は、予約制です。役場健康福祉課健康推進係☎62-2111内線513、516、517へ予約の上、利用ください。

【相談日】11月28日(木)、平成26年2月27日(木)
【時間】午後1時30分～3時30分
【場所】町保健センター

気軽に利用ください 児童家庭相談窓口

問 ○「児童家庭相談窓口」役場町民課子育て支援係 ☎62-2111内線505
○県福祉総合相談センター ☎019-629-9604（相談は24時間、秘密厳守）

いじめや不登校、親による虐待から子どもを守ることは、社会全体で取り組まなければならない課題です。町では、「児童家庭相談窓口」を設けています。いつでも気軽に利用ください。

子どもを虐待から守るための5カ条

①「おかしい」と感じたらすぐ連絡
通告は皆さんの義務です。もし、虐待の事実がなかったとしても、責任を問われることはありません。児童虐待は早期発見が必要なのです。

②「しつけのつもり…」は言い訳
子どもの立場で判断しましょう。

③一人で抱え込まないで
「助けを求める」、「相談する」など、できることからすぐ実行しましょう。

④親の立場より子どもの立場を
子どもの命が最優先です。

⑤虐待は身近でも起こりうる
児童虐待は特別なことではありません。

まちの文芸

短歌

二年ぶり野田の海岸夫と来て熱き砂浜素足で歩む　瀬川　浩美

暮れなずむ渡島に移る満月は海峡あまねく黄金に照らす　高橋　糸

足元に夜露絡みていつしかに蟲鳴く声も疎らなりけり　國　男

俯きて秋海棠の咲き初める我が小さき庭明るくなれり　五十地キミ子

視聴嗅味触の五感に冴えた過去いま尚耀く第六感　佐藤　水魚

俳句

秀峰の間近に見えて秋澄めり　遠藤　金作

休田に続く古道野菊揺れ　遠藤　初枝

防ぐ術持たず見ている秋出水　佐藤　栄

秋霖や手押し車に掛け筵　志田　悦朗

読まず置く書を繙きて夜長かな　柴田　ヒノ

朝露に濡れて早出の任に就く　白井　梅子

溺愛の子が病む如く稲の伏す　山口　國男

座して読む句集に夢中秋一日　高橋　麗子

川柳

席題「残暑」　馬渕　草　選

〈佳作〉

いちにちのシャツに冷や汗あぶら汗　柴田　満子

鳴き納め蝉一匹が我を通し　菊地　一覚

残暑まだ続いて旨い冷やし汁　佐藤　小草

〈秀逸〉

秋なのに片付けられぬ扇風機　土橋はつお

北山の残暑に根づくきのこ菌　久慈　正和

残暑除け電柱一人に影くれる　四日市俊悦

降れば豪雨止めば残暑の蝉しぐれ　自　句

図書館だより

町立図書館
☎62-2877

【10月の休館日】　毎週月曜日、25日（金）。ただし、14日（月・祝）は開館し、15日（火）に休館します。

【開館時間】　9:00～18:00

10月26日～11月22日まで『本のこうかん市』を開催します。詳細は図書館に問い合わせください。

新着図書

ジャンル		書　名	著　者
一般向け	小　説	恋歌	朝井　まかて
	小　説	動員時代―海へ	小川　国夫
	実用書	玄関まわりエクステリア	主婦と生活社
児童向け	読み物	空を飛んだ男の子のはなし	サリー・ガードナー
	読み物	クサヨミ	藤田　雅矢
	絵　本	ぐるんぐるんつむじかぜ	アーノルド・ローベル

図書館の行事

◇おはなし会◇

【日時】　10月20日(日)　午前11時～
【対象】　小学校就学前の親子
読み聞かせボランティアの『おはなし☆きらきら☆』によるおはなし会です。

◇チビッコ映画会◇

【日時】　10月24日(木)　15時30分～
【対象】　幼児、小学生
【内容】　アニメーション映画2本を上映します

ふるさと再発見 いわてまち探検隊 No.19

岩手町観光ボランティアホームページ http://e-iwate.net/

町の名所・旧跡や自然、歴史などを「岩手町観光ボランティアガイドの会」会員が毎月交代で紹介します。今月のガイドは、千葉利夫さん(74歳)＝草桁＝です。

㊤大坊の国有林内に見られる御堂松

㊧見上げる高さは約25㍍。樹冠が傘型に大きく広がる秋浦の「三本松」

岩手町の木「御堂松」

当町一帯の天然生アカマツは、俗に「御堂松」と呼ばれ、町のシンボルの一つとなっています。この地から産出されるアカマツは、幹が長く直径が太いのが特徴で材質に優れており、産地の名前を付し、全国的に著名なマツとして有利に取引されたといいます。

御堂松は民有林にはほとんどなく、多くが国有林に属していますが、戦後の木材需要の高まりにより伐採されたため、現在は若い林が大部分となり、御堂松の大木が見られる場所は、朽木林と大坊の国有林内に限定されます。

また、秋浦には県内有数のアカマツの巨樹があり、幹が三股に分かれた姿から「三本松」などと呼ばれています。樹齢推定400～500年。幹回り約4・8㍍の大きく、美しい松です。

お知らせ

問 問い合わせ先　申 申し込み先

岩手町役場 ☎62-2111

募集しています

平成26年度学生を募集

■岩手大学社会人学生

岩手大学では、教育学部の平成26年度社会人入試を行います。

【募集コース・試験内容】 ①生涯教育課程日本語・地域文化コース　小論文・面接　②芸術文化過程美術・デザインコース　面接　※面接には口頭試問を含みます

【募集人員】 いずれも若干名

【応募資格】 平成3年4月1日以前生まれの人で社会人経験を有し、高等学校を卒業した人またはこれと同等の学力を有すると認められる人

【出願受付期間】 11月1日（金）～11月7日（木）

【試験日】 11月27日（水）

【その他】 出願書類、入学検定料については問い合わせください

申・問 岩手大学学務部入試課（〒020-8550盛岡市上田三丁目18-8）☎019-621-6064

学生の冬休み海外派遣

■国際青少年研修

公益財団法人・国際青少年研修協会では、全国の小・中・高校生を対象に、「小学生～高校生の国際交流」平成25年度冬休み海外派遣事業の参加者を募集しています。

【内容】 ①ディスカバー・サイパン～常夏の冒険～　②オーストラリア・クリスマスホームステイ&牧場体験　③フィジー無人島で基地づくり&のんびり村のホームステイ

【日程】 12月26日（木）～1月3日（金）のうち7～9日間

【対象】 小学3年～高校3年生

※事業により対象学年が異なります

【定員】 各20人（先着順）

【参加費】 ①24万8千円　②37万8千円　③34万8千円

【締切】 11月5日（火）

問 公益財団法人　国際青少年研修協会☎03-6459-4661

行われます

楽しい人形劇見に来て

■子育て支援センター

町子育て支援センターは、各種講習会を行います。講習会開催中は子育てボランティアによる託児を行いますので、気軽に参加ください。

○育児講習会～人形劇「ねずみの嫁入り」～

【日時】 10月17日（木）午前10時

【場所】 川口保育所ホール

【費用】 無料

銀河鉄道まつり開催！

■IGRいわて銀河鉄道

IGRいわて銀河鉄道（株）は、「銀河鉄道まつり」を開催します。入場は無料です。

【日時】 10月19日（土）午前9時30分～午後3時

【会場】 IGR好摩駅東側特設会場　※駐車場に限りがあります。なお、列車での来場者先着100人に記念品を贈呈しますので、ぜひ列車でお越しください。

【主な内容】 ①もちまき（当たりくじ付）　②ちびっ子お楽しみコーナー（ミニSLなど）　③食事・買い物コーナー（いわてまち焼きうどん、沿線の野菜販売など）　④鉄道コーナー（各種車両展示、レール切断実演、鉄道グッズ販売など）　⑤IGRおしごと探検隊（午前10時からと午後12時30分からの2回、各先着30人）

問 IGRいわて銀河鉄道（株）☎019-626-9151

管内中学生の意見発表

■人権尊重に関する意見

盛岡教育事務所管内の中学生が「明るく楽しい学校づくり」の取り組みを通して学んだことなどを意見発表します。

一般の人も発表を聞くことができます。申し込みは不要ですので直接会場へお越しください。

【日時】 10月15日（火）午後1時30分～3時30分

【会場】 川口中体育館

【発表者】 川口中3年工藤大輝（まさき）君他、盛岡教育事務所管内の中学校代表9人

問 役場総務課地域安全係☎62-2111内線203、208

自立・就活の悩み相談

■若者サポートステーション

就職に関して悩んでいる若者やその保護者を対象とした個別相談会を開催します。相談を希望する人は、事前に申し込みください。相談は無料です。

【日時】 10月18日（金）午前10時～午後4時

【会場】 沼宮内ハローワーク2階会議室

【対象】 就業に悩みを持つ15歳～39歳の人とその家族

【内容】 専門の支援員による個別相談

申・問 もりおか若者サポートステーション☎019-625-8460

困りごとありませんか

■特設行政相談所

総務省では、10月21日（月）～27日（日）の一週間を「行政相談週間」と定め、全国的に各種行事を実施します。

町では「特設行政相談所」を次の日程で開設し、田村禮子委員が相談に応じます。

相談は無料、秘密は厳守しますので、お気軽にご利用ください。

【日時・会場】 ▼21日（月）午後2時～5時・北山形公民館　▼22日（火）午後2時～5時・水堀公民館　▼24日（木）午後5時～7時・一方井公民館　▼25日（金）午後5時～7時・川口公民館　▼26日（土）午後5時～7時・沼宮内公民館

問 役場総務課地域安全係☎62-2111内線203、208

調停相談会を行います

■盛岡調停協会

盛岡地方・家庭裁判所の調停委員で組織する盛岡調停協会は、調停相談会を開催します。相談は無料です。

【日時】 11月10日（日）午前10時～午後4時

【会場】 県民会館

【相談内容】 金銭・土地建物・遺産相続・夫婦関係などの紛争

問 盛岡地方裁判所事務局総務課☎019-622-3350

その他

10月中に申請ください

■IGR通学定期の補助

町は、列車通学者を持つ家庭の経済的負担を軽減するため、通学定期券の購入費用の一部を助成しています。

【対象】 IGRいわて銀河鉄道の通学定期利用者の保護者。なお、通学定期の有効期限が平成25年4月1日から9月30日までのものに限ります

【申請方法】 IGR各駅から使用証明を受けた「IGR通学定期補助金交付申請書」を提出してください

【申請期限】 10月31日（木）

※土・日・祝日は、日直が受け付けます

申・問 役場企画商工課企画広報係（役場2階⑤番窓口）☎62-2111内線215

一定面積以上は届出を

■土地取引の届出

一定面積以上の大規模な土地を購入した人は、国土利用計画法に基づく届出が必要です。

土地の売買契約を結んだ日から2週間以内に、役場へ届け出てください。

【届出が必要な面積】 ▼都市計画区域　5千平方メートル以上　▼その他の区域　1万平方メートル以上

問 ○役場企画商工課企画広報係（役場2階⑤番窓口）☎62-2111内線215　○県庁環境保全課☎019-629-5268・5269

建築ルールを守ろう！

■違反建築防止週間

県は、10月11日（金）から17日（木）まで違反建築防止週間を実施します。16日（水）には、県下全域で公開一斉パトロールを行います。

また、この週間中に建築相談所を開設し、ご相談にお答えしますのでご利用ください。

問 盛岡広域振興局土木部☎019-629-6650

10月は「木づかい月間」

■町産材利用住宅促進事業

林野庁は、国産材の積極的な利用による元気な森林づくりや木材の利用拡大を推進するために、毎年10月を「木づかい推進月間」に定めています。

町では、町産材を使い、延べ床面積50平方メートル以上の木造住宅を新築または改築する場合、40万円を限度として町産材1立方メートルにつき2万円を補助しています。

ぜひ皆さんも「木づかい」しませんか。

問 役場農林環境課農林振興係（役場3階②番窓口）☎62-2111内線303

ヤング散歩 YOUNG No.304

Kate O'Meara

【プロフィル】 ケイト・オマラ（29）＝オーストラリア出身、城山＝。メルボルン大学を卒業後、看護師として就職。平成24年3月にALT（英語指導助手）として来日し、一戸高、福岡工業高に1年間勤務後、本年4月から町の小中学校で指導する。血液型A型、しし座。

日本語検定にチャレンジ

「温泉にはよく行きますし、お茶も習っています。正座は苦手ですけど…」と笑うケイトさん。日本国内を旅行したり、地域の行事に参加するなど積極的に日本文化に触れています。「ことしは、新町組で秋まつりに参加します。山車に飾る花作りなども手伝っていますよ」と、秋まつりを心待ちにしています。趣味はスポーツで、スノーボードやテニスを楽しむ他、森のアリーナのジムで汗を流したり、サークルに入りフラダンスを踊ったりと活動的。理想の男性像は、「趣味が合い、優しくて面白い人。気軽な感じの人が好き」なのだそうです。「今一番のチャレンジは、日本語です。日本語検定の5級に合格できましたが、次は4級をパスしたい」と熱心に勉強します。

町民カレンダー

10月の行事予定

日（曜）	時間	行事名	場所
2（水）	9:45 ～	離乳食教室 （平成25年6月生まれのお子さんの家族）	町保健センター
3（木）	13:30 ～ 15:30	福祉のしごと定期出張相談 in 岩手町	プラザあい
4（金）	9:30 ～	妊婦教室２回目 （平成25年11月～平成26年2月出産予定の女性）	町保健センター
		町秋まつり（6日まで）	沼宮内地区
9（水）	12:30 ～	３歳児健康診査 （平成22年2月8日～4月9日生まれ）	町保健センター
12（土）	8:30 ～ 15:00	第44回町民ホッケー大会(小･中学校の部)	町ホッケー場
13（日）	9:00 ～ 14:00	第８回町民ニュースポーツ交流会	町総合グラウンド他
14（月）	8:00 ～	町民ゴルフフェスティバル	岩手沼宮内ｶﾝﾄﾘｰｸﾗﾌﾞ
16（水）	10:00 ～ 15:30	盛岡年金事務所出張相談 （要予約：盛岡年金事務所 ☎019-623-6211）	ゆはず交流館
17（木）	10:00 ～	まんまと湯っこの会	老人福祉センター
18（金）	9:00 ～ 12:00	人権・行政相談	町勤労青少年ホーム
19（土）	9:30 ～	県高校新人大会ホッケー競技	町ホッケー場
	10:00 ～ 15:30	希望郷いわて国体開催決定イベント 希望郷いわてスポーツフェスタ	北上総合運動公園
20（日）	8:30 ～ 14:00	第44回町民ホッケー大会（一般の部）	町ホッケー場
	8:30 ～ 16:00	第27回町民ゲートボール大会	町総合グラウンド
22（火）	12:30 ～ 12:45 ～	９カ月児健康診査（平成25年1月生まれ） ６カ月児健康診査（平成25年4月生まれ） １歳児健康診査（平成24年10月生まれ） ※乳幼児の健診を希望する人はどなたでもおいでください	町保健センター
	13:00 ～ 16:00	盛岡消費生活センター出前消費者相談会 （要予約：受け付けは役場総務課地域安全係）	町総合開発センター
24（木）	10:00 ～	子育てサロン”すくすく”	町保健センター
26（土）	10:00 ～	第33回町産業まつり（27日まで） ※会場内で全血献血を行っています（26日のみ） 時間：10:00～12:00、13:00～15:30	森のアリーナ
29（火）	9:30 ～ 12:00 13:00 ～ 16:00	成分献血	町総合開発センター
31（木）	16:00 ～	東北高校選抜ホッケー大会(3日14:00まで)	町ホッケー場

11月の行事予定

日（曜）	時間	行事名	場所
1（金）	9:30 ～	妊婦教室１回目 （平成26年1月～4月出産予定の女性）	町保健センター
3（日）	8:30 ～	第58回町民駅伝大会	沼宮内中発着
6（水）	9:00 ～	第45回町小中学校連合音楽会	森のアリーナ
	9:45 ～	離乳食教室 （平成25年7月生まれのお子さんの家族）	町保健センター
7（木）	13:30 ～ 15:30	福祉のしごと定期出張相談 in 岩手町	プラザあい
8（金）	9:30 ～ 11:00 12:00 ～ 13:30 15:00 ～ 16:30	全血献血	ケアホーム川口 ニチコン岩手㈱ 盛岡広域振興局 岩手土木センター
9（土）	9:00 ～ 17:00	第52回町芸術祭展示部門（17日まで）	石神の丘美術館
10（日）	10:00 ～ 16:00	第52回町芸術祭舞台部門	森のアリーナ

※広報掲載後に予定が変更になる場合もありますが、そのときは、回覧や広報などでお知らせします。なお、町内の団体などもこの欄をご利用ください。

町県民税（第３期）、国民健康保険税・後期高齢者医療保険料（第４期）の納付期限は10月31日㈭です
※口座振替の場合は10月25日（金）に指定の口座から引き落としになります

休日当番医

【受付時間】 9:00～17:00

10月

日（曜）	当番医
6（日）	佐々木医院
13（日）	塚谷医院
14（月）	岩手沼宮内クリニック
20（日）	北上脳神経外科クリニック
27（日）	佐藤整形外科クリニック

11月

3（日）	沼宮内地域診療センター
4（月）	さわやかクリニック
10（日）	佐渡医院

町内病院の電話番号

- ▶一方井診療所 ☎62-2659
- ▶岩手沼宮内クリニック ☎61-2025
- ▶北上脳神経外科クリニック ☎61-3636
- ▶佐々木医院 ☎62-2234
- ▶佐藤整形外科クリニック ☎68-7240
- ▶佐渡医院 ☎62-3211
- ▶さわやかクリニック ☎62-2043
- ▶塚谷医院 ☎62-1155
- ▶県立中央病院附属沼宮内地域診療センター ☎62-2511

県立中央病院附属沼宮内地域診療センター診療科

診療科	診療日	受付時間
内　科	月曜～金曜日	8:30～11:30
外　科	月曜～金曜日	8:30～11:30

10月の応援診療科

診療科	診療日	受付時間
脳神経外科	8日	8:30～11:00
循環器（内科）	7、21日	13:00～15:30
高血圧・糖尿病外来	2、16日	8:30～完全予約制
小児科	11、25日	13:00～16:00
皮膚科	8、22、29日	13:00～15:30
整形外科	4、18日	8:30～11:30

※休日当番医、応援診療科は予定を変更する場合がありますので、あらかじめ電話で確認の上、来院ください。

よろこび かなしみ

平成25年8月受け付け分

●お婿さん、お嫁さん● 1組（2組）

▼8月

日	お名前	世帯主	行政区
17	佐藤　亮 上川原あゆみ	武　志 本　人	豊　岡 盛岡市

●生まれたお子さん● 2人（3人）

▼7月

日	お名前	保護者	行政区
25	中村　美咲（みさき）	敏　男	細　沢

▼8月

日	お名前	保護者	行政区
4	遠藤　大翔（ひろと）	浩　治	横　田

●亡くなられた人● 21人（21人）

▼8月

日	お名前（年齢）	世帯主	行政区
3	櫻場元次郎（86）	与三郎	丸泉寺
7	髙山カズエ（85）	則　子	大　坊
7	今松　千果（43）	政　志	下鳴沢
8	阿部　イマ（96）	岩　雄	下苗代沢1
9	本田忠三郎（83）	利　子	下　町
10	八尾　清子（77）	光　利	一方井
12	内藤　ミヱ（96）	本　人	駅　前
13	民部田　實（79）	寛	川原木
13	澤口　芳男（84）	本　人	下苗代沢1
18	藤沢　孝三（83）	清　之	田　中
18	横田キヌエ（84）	忠　一	落　合
19	田村　瀧子（81）	保　身	土　川
19	澤村　清（81）	本　人	民部田
19	佐藤　義道（57）	本　人	大　渡
20	立花　レイ（96）	弘　好	橋　場
22	三浦　榮子（91）	修　一	中　田
22	林　富美雄（75）	笑　子	芦田内
23	三浦福次郎（79）	本　人	黒　石
24	岡外　道雄（80）	本　人	上野口町
25	松浦　イク（90）	真里子	子　抱
27	澤瀬安太郎（81）	本　人	御堂新田

組数、人数の( )内は実数です。お婿さんお嫁さんは、結婚して町内に住所がある人を掲載しています。
広報に掲載を希望しない人は、届け出のときに町民課にお話ください。

子どもの急な病気は

こども救急相談電話

【受付時間】 午後7時～11時（年中無休）
【電話番号】 局番なしの☎#8000（ＰＨＳ、ダイヤル式回線電話、ＩＰ電話は☎019-605-9000）

診療時間外の受診

■症状が軽い場合
【受診場所】 盛岡市夜間急患診療所
盛岡市神明町3-29盛岡市保健所2階 ☎019-654-1080
【受付時間】 午後7時～11時

■症状が重い場合
【受診場所】 小児救急入院受入当番病院
下記予定表のとおり

日	月	火	水	木	金	土
		10/1 川久保	2 中央	3 日赤	4 中央	5 こども
6 医大	7 中央	8 川久保	9 日赤	10 医大	11 中央	12 医大
13 中央	14 日赤	15 川久保	16 医大	17 中央	18 日赤	19 こども
20 中央	21 医大	22 中央	23 日赤	24 医大	25 中央	26 中央
27 日赤	28 医大	29 中央	30 医大	31 中央	11/1 日赤	2 医大
3 医大	4 中央	5 川久保	6 中央	7 中央	8 日赤	9 こども
10 中央	11 医大	12 川久保	13 日赤	14 中央	15 医大	16 中央

【受付時間】 午後5時～翌朝9時、土曜日は午後1時～5時
【対象】 症状が重く入院が必要と思われる子どもと、盛岡市夜間急患診療所や休日当番医が診療していない時間帯の急病の子どもを受け入れます
【注意点】 日中の診療時間に受診できる人は、時間内に受診しましょう。また、重症な子どもの治療に支障をきたさないよう、まずは盛岡市夜間急患診療所を受診しましょう。日曜、祝日の日中は休日当番医を受診してください

■当番病院の連絡先
【中　央】 県立中央病院
盛岡市上田1-4-1 ☎019-653-1151
【日　赤】 盛岡赤十字病院
盛岡市三本柳6-1-1 ☎019-637-3111
【医　大】 岩手医科大学附属病院
盛岡市内丸19-1 ☎019-651-5111
【こども】 もりおかこども病院
盛岡市上田字松屋敷11-14 ☎019-662-5656
【川久保】 川久保病院
盛岡市津志田26-30-1 ☎019-635-1305

「こころといのちを支えるいわて」
ひとりで悩まず下記にご相談ください。
■盛岡いのちの電話☎019-654-7575（正午～午後9時、日曜日のみ午後6時まで） ■県精神保健福祉センター☎019-622-6955（午前9時～午後4時30分） ■役場健康福祉課 ☎0195-62-2111（内線518）

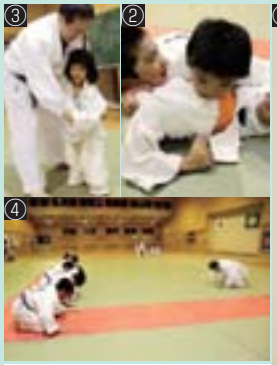
広報いわてまち
町のいまを伝える
Iwate-machi Monthly Public Relations Paper
No.652
2013年【平成25年】10月1日発行

■編集／岩手町企画商工課
〒028-4395 岩手県岩手郡岩手町五日市10-44
TEL0195-62-2111 FAX0195-62-3104
URL http://www.town.iwate.iwate.jp

■人口の動き（H25.8.31現在） ※（ ）内は前月比
人口/男7,293（△16）、女7,630（△22） 計14,923（△38）、世帯/5,463（△1）
出生/3、死亡/21、転入/14、転出/33、外国人住民/122人
※住民基本台帳法に基づき、人口、世帯数は外国人住民を含む数を掲載しています

いきいきサークル No.07

攻めの姿勢で狙うは一本！「沼宮内柔道スポーツ少年団」



①狙うは一本！攻めの姿勢がモットーの沼宮内柔道スポ少②真剣な表情で寝技の練習に取り組む団員たち③柔よく剛を制す!?④「礼に始まり礼に終わる」は柔道の基本精神

「ビシッ！」、「バシッ！」畳をたたく音が響き渡る町柔剣道場。沼宮内柔道スポーツ少年団は週3回、この場所で練習に励んでいます。昭和55年に結成した同団。多数のOBからは、国体選手も輩出する名門です。現在の団員は、3歳から小学5年生まで12人。町内外から道場へ通い、瀬戸正信監督や小細沢一行コーチ、OBたちの指導を受けています。先日出場した滝沢村柔道協会長杯では、3・4年生の部で山下遥己（はるき）君（沼宮内小4年）が準優勝に輝きました。山下君は「決勝で負けて悔しいけど、練習してきたことを生かして試合に勝てると面白い」と手応え十分の様子。2年生から柔道をはじめた伊藤凛（りん）さん（同）は、「一本で勝つとすっきりします。かっこいい柔道選手になりたい」と目を輝かせ帯を締めます。瀬戸監督は、「『常に一本を狙う攻めの柔道』がモットー。また、特に礼儀は厳しく指導しています。今だけでなく将来にわたり活躍する選手を育てたいですし、五輪選手を出すのが夢」と熱く語ります。

代表：瀬戸信人（78）＝田中栄小路＝
会員：12人

「いきいきサークル」では、町内で活動するスポーツ、文化、ボランティアなどのサークルや団体を紹介します。 問 役場企画商工課企画広報係 ☎62－2111 内線217へ

美術館へ行こう

いわての現代美術と出会う、秋。

会　期：11月4日（月・祝）まで
午前9時～午後5時 《会期中無休》

観覧料金：【町民割引料金】 受付に運転免許証、保険証などを提示ください
一般240円／大・高生160円／中学生以下無料
※東北文化の日10/26（土）、27日（日）と文化の日11/3（日）は、観覧無料です

問 石神の丘美術館 ☎62－1453

《芸術の秋》作品作りをしてみませんか
※参加希望者は美術館へ申し込みください

南舘麻美子〈はがしてつくるメディウム刷り版画〉
10月13日（日） 午後1時～3時 参加無料

妻神則夫〈オリジナルカードをつくろう〉
10月19日（土） 午後1時～3時 参加無料

アートなウォーキングをしてみませんか

作家と一緒に作品を鑑賞しながら美術館を散策
11月3日（日） 午後1時～3時
参加無料・当日受付

編集後記

9月16日、台風18号が猛威を振るいました。町内では、道路や河川、農業施設などが被害を受けた他、床上・床下に浸水したお宅も。また、IGRが運休するなど大きな影響がありました。被害に遭われた皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。また、消防団などそれぞれの地域で対応に当たった皆さま、本当におつかれさまでした。

「川口秋まつり」も国道4号川口バイパスの土砂崩れで開催が危ぶまれましたが無事行われ、私も参加しました。初日、少し雨が降りましたが、かっぱを着ることも山車にシートを掛けることもなく済み、珍しく？3日間を通じて好天に恵まれました。川口まつりは今月号に掲載を予定していたため、山車を引っ張りながら所々で写真を撮影。うまく撮れていたでしょうか？

さて、10月も町秋まつり、体育祭などイベントが続きます。天候に恵まれるよう祈るばかりです。（佐藤）